

経営方針

1. 経営の基本方針

当社グループは、「持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、経済の発展のみならず、環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行う」ことを経営理念としております。

この共通理念のもと、当社グループは、経営諸資源を一体的かつ効率的に活用し、コストとリスクの最小化に努めながら、総合的な収益力・財務体質を強化し、企業価値の総和の最大化を目指してまいります。同時に、大量の廃棄物や副産物の処理・再資源化を可能にするセメント工場の特性や、培ってきたその再利用技術を十分に活かし、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献する企業として、新たな社会的役割を担ってまいります。

2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤とりわけ財務体質の強化を経営の優先課題として取り組み、将来的にも安定配当を継続してまいりたいと考えております。

一方、企業の業績向上と事業の拡大を図るための投資の源泉として、内部留保もまた不可欠であります。加えて、昨今の厳しい経済・金融情勢下にありますは、これまで以上に自己資本の充実に意を用いていく必要があると考えております。

以上により、当社といたしましては、安定配当の維持を基本方針としつつ、経営環境や期間の業績等を勘案して、適切な利益配分を行ってまいり所存であります。

3. 中期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内では公共投資縮減によるセメント需要の減少が顕著となっており、また国内外の市場におけるグローバルな企業間競争も激化していることから、今後もより一層厳しさを増していくものと予想されます。

このような情勢の中で、当社は、本年4月にグループ各社を包括した3ヵ年計画であります「太平洋04中期経営計画」を策定いたしました。今般この目標の一部を見直し、賃貸不動産の流動化等追加施策により、連結有利子負債の削減目標を、当初計画の2倍の2,000億円強(単体で1,000億円強)の規模に改めることといたしました。同時に、当社のコア事業でありますセメント、資源、ゼロエミッションの3事業分野に経営の重点をおいて、事業の強化と強固な経営基盤の構築を進めてまいり所存であります。

* 有利子負債削減計画の対策概要

(単位：億円)

対策項目		連結計画値	内、単体数値
04 中期経営計画有利子負債返済原資 (A)		1,150	460
追加対策	固定資産等処分(賃貸不動産流動化含)	500	400
	関係会社株式・事業売却	150	150
	有価証券等売却	100	100
	事業収支・金融収支改善	120	120
	投融資の圧縮	330	20
	子会社売却による影響額	100	-
小計 (B)		1,300	790
合計 (A+B)		2,450	1,250
固定資産等処分による事業収支影響額他		150	150
再計		2,300	1,100

なお、同中期経営計画につきましては、上記の有利子負債削減計画の見直しに加えて、当初策定以降の環境変化とそれに対応すべき追加諸施策等を織り込んで、さらに全体的な見直しを行う予定です。